

【本部】

〒162-0825
東京都新宿区神楽坂 6-46 ローレル神楽坂ビル 7F
TEL : 03-3269-8411 FAX : 03-3269-8414
E-mail : seminar@jyda.jp

【コーチング事業部】

〒604-0857
京都府京都市中京区烏丸通り
二条上ル蒔絵屋町 265-2SCG ビル 8F
TEL : 075-256-8828 FAX : 075-256-8829

子供たちの明日へつながる

かけはし

Vol.17

2024年 5月

<https://www.jyda.jp/>



週29時間以上の圧倒的レッスンで 英語の「聴く」「話す」実践力を磨く

海外ではもちろん、日本国内でも英語でのコミュニケーション力が求められる時代。

「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能のなかでも、特に日本人が苦手とされる「聞く」「話す」力は、習うより慣れる。英語のシャワーを集中的に浴びて、英語を使うことに慣れることが一番の近道です。

フィリピン・セブ島でのマンツーマンと少人数クラスによる1週間からの集中英語留学。

英語力を磨きたいあなたを留学のプロが全力で応援します。

留学先語学学校 3D ACADEMY

- ・フィリピン教育庁認定の正規語学学校。
- ・年間受入実績は1千名以上で日本資本の語学学校ではセブ島最大。
- ・代表やマネージャーを始め、日本人スタッフが複数人常駐。
- ・単なる思い出としての留学ではなく、英語力アップという成果を重視。



成果にこだわるプログラム

- ・毎週の授業時間は1日350分×5日間。
- ・マンツーマンクラスと少人数クラスで組み合わせた英語授業。
- ・アウトプットを繰り返して頭に染み込ませる実践的な教授法で、英語の「聞く」「話す」を集中強化。



英語学習に集中できる快適な環境

- ・日本人シェフが監修した食事を1日3食提供。
- ・週2回の掃除・洗濯サービス。
- ・高速Wi-Fi、展望ラウンジ、自習室、フィットネスジム等充実の施設がすべて無料で利用可能。



個人でのお申込の他に、**学校や塾の団体研修**としても実施可能です。まずはお問い合わせください。

株式会社ティエラコム カリヨントラベルサービス

〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-3-3 神戸ハーバーランドセンタービル 19階
観光庁長官登録旅行業第1336号／一般社団法人日本旅行業協会正会員 総合旅行業務取扱管理者 藤田健児

TEL: 0120-860-501 (受付時間: 平日9:00~17:00 土日祝休)



日本青少年育成協会とは?



×



一般社団法人です。

1994年4月15日、日本青少年育成協会は、内閣府（旧総務庁）所管の基、

内閣総理大臣によって社団法人として許可されました。

当協会は、青少年の健全育成に寄与することを目的として、青少年指導者の養成・研修、青少年の育成に携わる者の意識啓発、青少年の社会参加活動の振興、青少年育成の在り方についての調査研究等の事業を行っています。

私たちは、通称「日青協（にっせいきょう）」と呼ばれています。

設立から約30年間、日本国内の青少年の教育サポートを中心に、東南アジアでの学校設立など、数多くの事業を展開しています。

MISSION

世界の人々から尊敬され、信頼され、愛される日本人（青少年）の育成とそこに携わるに相応しい『架橋力』を持った指導者の育成を行うことを使命とする。

『架橋力』＝人と人との間に心の橋を架ける力

日青協が
すぐにわかる
動画



持続可能な、 雑木林的居場所づくり

私から活動方針を伝える前に、皆さんの力で30年間培ってきた
日青協の活動の在り方について、
感謝を込めて紹介しておきたいと思います。

一般社団法人 日本青少年育成協会 会長
増澤 空

真のボランティア精神

世の中にボランティア活動が数多ある中で、我が社团は、事務局職員以外の活動はすべて無報酬で成り立っています。交通費は無論のこと、場合によっては宿泊費などの諸経費も自前になります。しかし、会員の方から「交通費くらい・・・」という不満の声を聞いたことがありません。自発的な意志によって行動するというボランティア精神で、社团を支えてくださっていることに深く感謝を申し上げます。

社会貢献できる喜び

なぜこのように日青協の活動に人が集まってくくださるのか?と考えたことがあります。私も、一会員としてイベントに参加したことがあります。常に生き生きとした皆様の笑顔に触れることができます。皆様の活動の動機づけが「金銭的報酬」よりも「社会貢献できる喜び」であることを実感しております。

雑木林的空間

昨年度のメッセージでは、我が社团及び民間教育全体を雑木林に例えました。会員の皆様は、それぞれ自分の仕事をお持ちで、会社の規模の大小に関係なく、また年齢や男女の関係なく、ごく自然に空間を創出して交流されています。しかもその活動は、経済的な責任を抱えながら、企画から実践まで自立して行われているのです。その微妙なバランスが、災害や非常時に力を発揮し、持続可能な空間を創り出している雑木林に似ていることから、表現した次第です。

以上3点を紹介したうえで、一年(令和5年)の活動を振り返ってみたいと思います。

「**HSK関連**」では、今回で8回目となる「HSKフェア」において、コロナ禍以降のリアル開催を復活し、過去最高の参加者を実現しました。人気ユーチューバーをはじめとする講演者のご協力もいただき、盛会となりました。内容的にも充実し、セミナー会場も満員、来場者が途切れる時間帯がなく、コロナ禍後の集客という課題を克服するフェアとなりました。中国のご来賓の皆様からも高評価をいただき、「来年度も同じ会場で開催してほしい」と嬉しい言葉をいただいております。

またコロナを乗り越えるために生まれた「**オンライン留学**」は、コロナが収まりつつある現在も継続中です。この活動で得たものは、新規マーケット（ハンディキャップをお持ちの方々・子育て中の方々）の開拓、更に中国の有名大学との太いパイプです。今後のリアル留学に生かせる成果を得たと思っております。

教育メソッド普及委員会では、日々の教育メソッドの実践の積み重ねが確認できるイベント「**教育コミュニケーションフォーラム**」の開催は今年で8回目となりました。昨年からリアル開催に移行させていただき、有料参加にもかかわらず、例年会場は満員で、さらにアンケート結果では、過去にない満足度の高い評価をいただきました。更に今回、協賛企業の数が過去最高になったことも大きな収穫と言えるでしょう。

キャリア教育委員会とチャリティイベント委員会のコラボ企画—キャリア教育の一環で株式会社ラシク様との共催「**スタンドプロジェクト**」を我が社团とご縁のある五島市(奈留島)で開催しました。自治体を巻き込んで、五島市奈留島の中高生全員参加を実現しました。



最後に五島市から「今後自分たちの力で同じイベントを実現したい」というコメントをいただき、最高の評価を得た気がしております。

スポーツ委員会でも、ビブスの支援だけではなく、新規企画として、なかなか試合出場の機会に恵まれない子どもたちを支援する自主リーグをバックアップする活動も実践できました。神奈川のオーシャンズリーグ、千葉市の育成リーグに寄付金が届き、子どもたちにより良い教育環境を提供できました。



国際交流委員会のように、イベントではなく、毎月の勉強会を実施した委員会もあります。このことも大きなチャレンジのように思います。テーマは、「学習塾と留学のかけはし」です。近いようで遠い両業種の交流会をしながらの勉強会も、令和5年度の新しいトピックになりました。

冒頭にお伝えさせていただいた日青協が培ってきた3つの活動の在り方（真のボランティア精神・社会貢献できる喜び・雑木林的空間）を一言で表現するならば、皆さんの活動の力が発揮できる「居場所」作りだと思います。

作り出した「居場所」にあたる貴重な空間をどのように進化・深化させていくか?これが令和6年度の課題です。以前から掲げてまいりました『開かれた組織』『社会貢献できる組織』『チャレンジする組織』の姿勢で、雑木林的居場所から活動を推進し、ご報告できればと考えております。

- 1994 内閣総理大臣によって、社団法人として許可される。
- 1995 阪神大震災被災者の子どもに対する「心の相談室」設置
- 1996 「ジュニア文芸大賞」「ジュニア・サミット・キャンプ」実施 「発想コンテスト」実施
- 1997 「ベトナムマングロープ子ども親善大使」実施開始
- 1998 「子ども地域環境フォーラム」実施
- 1999 「アメリカとの留学事業」開始
「HSK日本事務局」開設

- 2000 「サイクルロードレース2000」開催
「ライフデザイン・パスポート事業」開始

- 2002 「森と農業キャンプ」開催

- 2004 設立10周年 チャリティイベント 実施
不登校・ひきこもりフォーラム
教育コーチング事業
「教育コーチ養成講座Ectp」スタート



- 2005 「教育コーチング認定校制度」スタート
厚労省委託「若者自立塾」開設

- 2006 保護者対象「親力向上セミナー」スタート

- 2007 リーダーシップ研修「人生航海図セミナー」スタート
教育コーチング専門誌「パパ・ママコーチ」発刊開始
厚労省委託「サポートステーション沖縄」開設
会報誌「かけはし」創刊

- 2008 **「フリー・ビブス プロジェクト」開始**



「塾経営セミナー」開始

- 2009 設立15周年「記念シンポジウム」開催
「第1回 全国教育コーチングフェスティバル」開催

設立15周年事業として、 ラオスに学校建設開始 (2010年1月31日完成)



- 2010 「ラオスフェスティバル2010」共催
「リユースPC事業」開始
「HSK日本事務局」東京本部にて再スタート

- 2011 東日本大震災被災者支援活動
『復興の種』実施
HSK受験者数10,000人突破

- 2012 「ラオスフェスティバル2012」共催
**「教育相談・教育コミュニケーション
実技研修会」主催**



- 「全国教育コーチングフェスティバル2012」開催
HSK受験者数15,000人突破
韓国意見交換会&教育視察

- 2013 **「じゃぶじゃぶ池」支援**



- 一般社団法人に移行
HSK受験者数20,000人突破
HSK実施試験会場全国27か所に拡大
「全国教育コーチングフェスティバル2013」開催
96法人400校を認定／教育コーチ2,000人突破
Ectp受講者20,000人突破

- 2014 「全国教育コーチングフェスティバル2014」開催
「ラオスフェスティバル2014」共催
20周年記念「台湾意見交換会&教育視察」

- 2015 教育コーチング認定制度10周年記念
「With E-Coaching」開催
「アクティブラーニング実践講座」開講
北京HANBAN 交流&意見交換会

- 2016 「アクティブラーニング実践フォーラム2016」開催
**「第1回 HSK
中国留学・転職フェア」開催**



- 2017 「アクティブラーニング実践フォーラム2017」開催
「プレスピーチコンテスト」開催
「マレーシア教育視察」
**「第2回 HSK(留学・就職)フェア」
大阪・東京にて開催**



- 2018 「アクティブラーニング実践フォーラム2018」開催
「ベトナム教育視察」開催
「第3回 HSK(留学・就職)フェア」大阪・東京にて開催
HSK受験者数30,000人突破
厚労省委託 若年者地域連携事業
**「NAGASAKI
しごとみらい博」主催**



- 2019 「第4回 HSK(留学・就職)フェア」東京・大阪にて開催
「アクティブラーニング実践フォーラム2019」開催
JPT日本語能力試験実施
教育メソッド普及委員会発足
HSK受験者数35,000人突破
厚労省委託 若年者地域連携事業
「NAGASAKI しごとみらい博」主催

- 2020 **国際交流事業
「オンライン中国留学」スタート**



- (四川師範大学・復旦大学・北京理工大学/保定学院大学)
HSK留学・就職フェア オンライン実施
「アクティブラーニング実践フォーラム2020」オンライン開催
「NAGASAKIしごとみらい博」主催 (オンライン実施)

- 2021 「かけはし未来基金」スタート
HSK受験者数 39,000人(過去最高)を突破
中国大学説明会 オンライン実施
HSK留学・就職フェア オンライン実施
オンライン中国留学実施
(華中科技大学・西南财经大学・復旦大学・蘭州大学・
南京大学・南開大学・天津大学・保定学院大学)
アクティブラーニング実践フォーラム2021

- 2022 「中文学習センター」開設
リーグ協賛事業をスタート
中国大学説明会 オンライン実施
オンライン中国留学実施
(西南财经大学・西安交通大学・天津大学・復旦大学・
蘭州大学・山西工商学院)
HSK留学・就職フェア オンライン実施
教育コミュニケーションフォーラム2022

佐世保市 若者市内就職 促進事業受託



- 五島市 事業所PR動画制作業務受託
長崎労働局 一体的実施事業受託

- 2023 中国大学説明会 オンライン実施
ラオスフェスティバル2023共催
オンライン中国留学実施
(復旦大学・西南财经大学・四川大学・深圳大学)
HSK留学・就職フェア 開催
(東京・大正大学)



スタンドプロジェクト共催



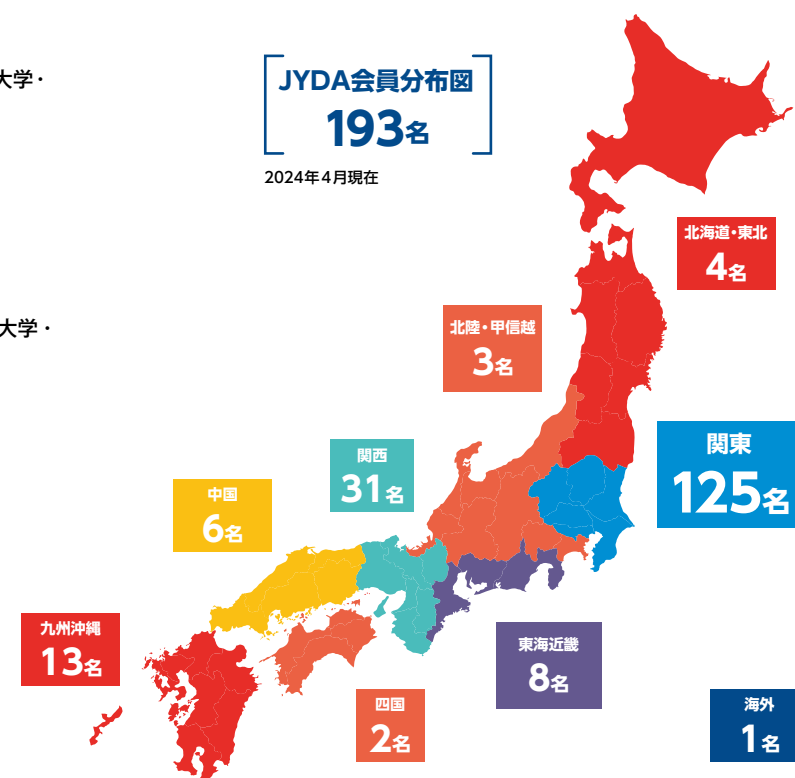
CTCSOL(国際中文教師資格試験)実施開始 教育コミュニケーションフォーラム2023



- 佐世保市 若者市内就職促進事業受託
五島市 事業所PR動画制作業務受託
長崎労働局 就職氷河期世代活躍支援都道府県
プラットフォームを活用した支援受託

JYDA会員分布図 193名

2024年4月現在



- 01 語学検定日本実施委員会

02 キャリア教育委員会

03 国際交流委員会

04 指導者育成委員会

05 教育メソッド普及委員会

06 スポーツ委員会

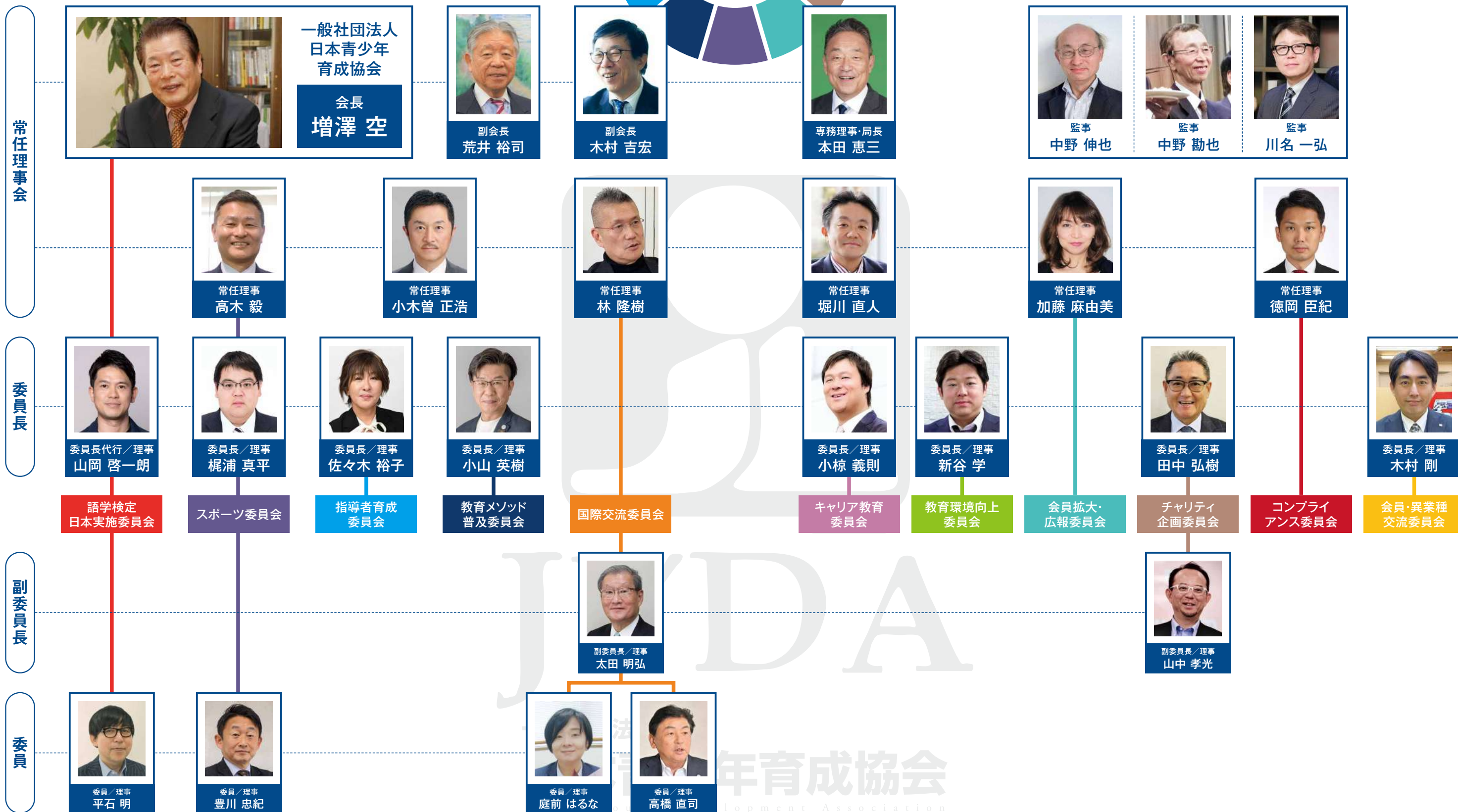
07 会員拡大・広報委員会

08 チャリティ企画委員会

09 教育環境向上委員会

10 会員異業種交流委員会

11 コンプライアンス委員会



01

語学検定 日本実施委員会

HSKを通じて学び
将来に活かす
～学習から留学・就職
までサポート～

REPORT 01

HSK STUDY で中国語を学び、日本全国で HSK 試験が受けられ、奨学金を貰い
中国留学に行き、HSK フェアで中国語を活かした就職を目指す。
語学検定日本実施委員会ではこのすべてを提供しています。



HSK受験地41都道府県へ拡大

HSKとは「漢語水平考試 (Hanyu Shuiping Kaoshi) の略称で、中国政府教育部 (日本の文部科学省に相当) が認定し、中国中外語言交流合作中心が主催する中国語の語学検定試験です。HSKは全世界163の国と地域で実施されており、日本でも世界でも最も受験生が多い中国語検定です。2023年、日本国内での受験者数は32,477名となりました。2023年も新たな地域（都道府県）での開催地を開拓し、既存の33都市に加え、全国9県、青森・山形・福島・鳥取・島根・香川・徳島・高知・宮崎での試験開催を実現しました。

第8回HSK

中国留学・就職フェア2023開催

HSK中国留学・就職フェアは、HSK受験者・中国語学習者に向けた「中国留学」と「中国語を活かした就職」の実現をサポートする情報提供イベントです。2023年は、大正

大学（東京都）にて開催されました。2019年以来、4年ぶりのリアル開催です。27の大学と20の企業が出展、さらにセミナー・ミニセミナーをあわせて9講演が実施されました。同会場で実施されたHSK試験とあわせて2,000名を超える来場者となり、過去最高の参加者数を記録しました。

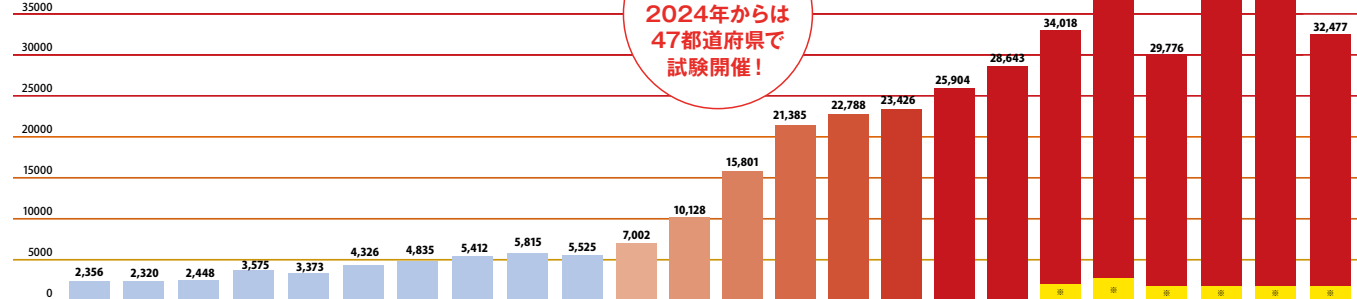


留学ブースの様子



セミナーの様子

HSK受験者数推移



さらなる
飛躍を目指して、
2024年からは
47都道府県で
試験開催！

※黄色部分:日本国内孔子学院+インターネット試験での受験者数



就職ブースの様子

HSK STUDY講師による ミニレッスン開催

『日本と世界で一番受けられている中国語検定』が運営するオンライン中国語教室HSK STUDYが2022年10月より始まりました。HSK受験者の中国語学習・HSK合格のサポートを目的とするHSK STUDYを多くの方に知っていただくために、HSK試験会場に来られた受験生を対象に「発音診断」や「ミニレッスン」を行いました。各内容は、HSK STUDYの講師を務める2名の講師が対面で行います。



【発音診断】日本人学習者の特徴として、読解は得意だが発音や会話に苦手意識を持つ傾向があることから、参加者ひとりひとりの発音を診断し、得意な発音や苦手な発音を丁寧にフィードバックしていきます。さらに普段の学習にも繋がるようなポイントもお伝えしました。

【ミニレッスン】日本人が間違えやすい文法事項や語彙・成語の解説、さらには過去問を用いたHSK6級の要約対策など、多くの受験者に需要のあるポイントをレッスンの内容に選定しました。発音診断およびミニレッスンは、2023年4月より定期的に開催し、2023年度では約

500名の受験生にご参加いただきました。2023年度は、個別授業(44名)・集団対策授業 (103名) 延べ147名の方にHSK STUDYで学んでいただきました。実際にHSK STUDYの講師と対面できたことで、授業の様子が具体的にイメージでき安心して入会することができたとの声もいただきました。今後もHSK STUDYはHSKを通じて中国語学習者に学習の場を提供し続けます。

監督官

HSK試験は現在約2,300名の監督官の登録があります。HSKでは公平な試験の実施のため、監督官は初回に対面の新人研修 (HSK監督官としての心得や実際のマニュアルを用いた試験当日の流れを習得する研修)へ参加し、さらに試験前に開催されるオンラインの事前研修 (注意事項や試験ルールの最終確認の研修)を経て、試験当日を迎えます。ここからステップアップすると『監督官国際認定試験』があります。この試験は、試験監督を3回務め、監督官として必要な知識・技能を取得した方が受験することができます。合格すると世界認定 (B級) が送られ、さらに一定の経験を積んだ監督官が受験することができる国際認定 (A級) 試験があります。監督官の皆様のご協力のもと、毎月安定した試験運営を行うことができていることへの感謝をこの場をお借りし申し上げます。ありがとうございます。また今年度も新人研修を開催し、新たに95名の監督官を迎えました。今後も受験者に向けた受験機会の提供はもちろん、監督官ひとりひとりが成長し続けられる場であるよう、引き続き委員会一同一丸となって取り組んでまいります。

CTCSOL

『国際中文教師資格認定試験 (CTCSOL)』は、中外語言交流合作センターが主催する標準化された試験です。この試験には、一般版と現地版の2種類があり、『国際漢語教師標準』に基づいて、漢語教育の基礎、漢語教育の方法、教育組織と授業の管理、中

国文化と異文化間のコミュニケーション、職業倫理と専門発展の5つの基準能力を考查し、受験者が国際中文教師としての能力を持っているかどうかを評価します。2023年は筆記試験・面接試験が各2回ずつ開催され、135名の受験生が受験しました。試験運営を通じて中国語教師の育成にも注力し、来年度も引き続き開催を行ってまいります。



HSK拡大に向けた取り組み

HSK試験の受験地拡大にあたり、試験運営の他、全国教育機関 (主に大学や中国語教育の実施のある高校) とのつながりを持たせていただき、教員や学生に向けたHSKを知っていただくための情報提供にも力を注いでいます。なかでも学生向けHSK説明会の開催は、試験内容や受験要項のみならず、HSKを活かした中国留学や就職についても自分事として学生がイメージしやすいよう実際の体験談や事例を用いてお伝えしています。またHSKの学習法については、中国語教育を専門とする*HSK認定校の講師をお招きし、参加学生の学習進度に合わせた説明をお話いただきます。(*HSK認定校はHSK日本実施委員会が定めるHSK各級に準じたカリキュラムの中国語講座を設置している語学学校) HSK説明会は、各学校のご要望にあわせて1年を通していつでも開催が可能です。教員から学生へ向けて検定を受けることをおすすめするより、実際に試験運営団体が学生に向けた案内をすることでまた別の視点で検定について向き合う機会となり大変好評です。今後も全国教育機関や中国語学習者へお届けできるよう活動を引き続き継続してまいります。

令和6年度 活動計画

- HSK/YCT日本事務局事業
- HSK奨学金キャンプ・オンライン留学・中国留学事業支援
- HSK関連書籍販売
- 留学・就職フェア
- 認定校支援中文学習センターなど漢考国際委託事業



02

キャリア教育
委員会

キャリア教育を通じて、
人・産業・地域の
架け橋に！

REPORT 02

①地域人材の早期就職支援 ②若者の県内就職促進 ③企業の採用活動支援を通じて、地方の活性化に取り組んでいます。



03

国際交流
委員会

世界に「日本が
存在していてよかった」と
思ってもらえる日本に

REPORT 03

2024年の今、どの国も他国との協調なしには存立できません。そして一方、様々な国々が様々な利害関係を抱えて対峙しているのも事実です。そんな状況の中「国際交流」は「外国人同士の出会い」です。その時に、「誠実であること」、「相手に敬意を持って接すること」、「相手の文化を理解しようと努力すること」、「自身のアイデンティティをしっかりと持っていること」がとても大切です。



求職者と県内企業のマッチングを促進する 【就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援】

主に就職氷河期世代の早期就職と県内企業の採用力向上を目的として、以下の事業を実施しました。



- 多様な人材活用セミナー開催
(年間1回／全21社参加)
- 即戦力活用セミナー開催
(年間1回／全25社参加)
- 企業説明ブースツアー開催
(年間3回／全16社・69名参加)

企業の魅力発信で若者の地元就職を促進する 【五島市事業所PR動画制作事業】

五島市内の高校生の地元就職促進を目的として、以下の事業を実施しました。

- 五島市内事業所に対する動画制作セミナー開催 (年間1回／全14社参加)



- 五島市内事業所に対する動画制作サポート (全11社)
- 五島市YouTubeチャンネルでの動画公開・市内高校へのDVD配布 (動画公開: 全11社・DVD配布高校: 全5校)

企業との交流・体験を通じて 若者の地元就職を促進する

【佐世保市若者市内就職促進事業】

佐世保市内の高校生の地元就職促進を目的として、佐世保市内の事業所と高校生の交流イベントを実施しました。(年間2回／全21社・全4校参加)



高校生海外公立高校1学年間留学

・1学年間をホストファミリー滞在をして海外の公立高校に通います。
実績：アメリカ30名、ニュージーランド4名、カナダ1名



ニュージーランド

高校生インバウンドプログラム

・海外から高校生を受入れ、ホストファミリーに滞在し日本の高校に通学します。
実績：3ヶ月-3名、2ヶ月-8名



HSK中国留学個別支援プログラム

・留学希望者の希望学部・研究分野、高校の成績、中国語力等をコンサルティングし中国の大学、大学院への進学をサポートします。
実績：大学学部4名、大学院1名

国際中国語教師奨学金プログラム

・給付型奨学金で、授業料、宿泊費、保険料

免除、返済不要の生活費が支給されます。
実績：4週間-1名、1学期間-11名、1学年間-33名、本科(学部)-2名、修士-5名

HSKオンライン中国留学プログラム

・有名大学と提携して、奨学金プログラムもあり、極力リアル留学に近づけたオンライン中国語学研修プログラム
実績：復旦大学、西南财经大学、四川大学、深圳大学、計277名の参加

国際交流応援校支援

・日青協の会員を中心に、国際交流・留学に関する各種勉強会・説明会を実施しました。
・その他、会員からの依頼に対応し、各種セミナー講師、資料の提供等を実施しました。



令和6年度 活動計画

- ・厚生労働省委託 就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援
- ・佐世保市委託 若者市内就職促進事業
- ・五島市委託 五島市事業所PR動画制作業務



令和6年度 活動計画

- ・高校生1学年間留学(北米・オセアニア)
- ・国際中国語教師奨学金推薦状発行
- ・中国留学個別支援プログラム

- ・オンライン中国留学・中国留学説明会
- ・HSK中国留学・就職フェア
- ・国際交流応援校プロジェクト
- ・中国・欧米インバウンド交流プログラム



04

指導者育成
委員会「教」から「育」への
トランスフォーメーション
をリードする

REPORT 04

指導者育成委員会はその根幹メソッドとなる教育コーチングの普及を通して、学校教育、民間教育、家庭教育、社会教育を支援し、我が国の教育の「教 (teaching)」から「育 (coaching)」へのトランスフォーメーション (transformation=質的転換) をリードしています。



日本青少年育成協会教育コーチング事業は2005年にスタートしました。「教育コーチ養成講座Ect p」「教育コーチ検定」を核に、講演会、各種セミナー等を展開、延べ受講者は10万人を突破しています。

【主催事業】

教育コーチ養成講座Ect p

7つのステップで教育コーチ認定取得を目指す「教育コーチ養成講座Ect p」。2グレードのWEB講座を修了した方を対象としたLIVE講座ですが、東京・京都を中心とした公開会場で約20回、感染症対策を万全に期した上で開催し、教育コーチングにどっぷり浸り、仲間と共に磨き合う濃密な時間となりました。また「教育コーチング養成講座Ect p初級教育コーチ実践編」においては、全日程オンライン講座とし、北は北海道、南は沖縄まで、全国から教育コーチを志す皆さんに受講を頂きました。

さらには各地の教育コーチング認定校準会場では、LIVE講座はもとより、ご希望のあった認定校準会場では、オンラインとLIVEの

ハイブリッド講座も運用・導入し、開催しました。これらを踏まえ、全国で活躍しています認定トレーナーが一堂に会する「指導者育成委員会兼トレーナー総会」におきましても、オンラインでの実施を行い、オンラインツールの可能性と有効性を検討。今後も大人の学びを止めない取り組みを続けていきます。

【受託事業】

講演会・研修・セミナー

(公的機関、民間企業、諸団体委託)

教育関係を中心に、2023年度も多くの団体から講演会・研修・セミナーの依頼を受け、



北は北海道、南は鹿児島まで、たくさんの方々に教育コーチングを学んでいただきました。こちらにつきましても、「教育コーチ養成講座Ect p」同様、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、オンラインでの講演会、研修、セミナーを実施し、LIVEでおこなうものと遜色のない内容に各方面から過分なる評価をいただいております。大学や専門学校からの依頼、保護者講演会や教職員研修に加えて生徒向けの講演会依頼が増えているのも近年の特徴です。これからもしっかりと、LIVE、オンライン問わず、ご要望にお応えしていきます。

05

教育メソッド
普及委員会がんばる先生、
学校、塾を徹底的に
応援する！

REPORT 05

「非認知スキル向上を重視した教育」

Society5.0がすべての人々にとってWell・Beingな状態であるために、今、教育はどうあるべきか…教育メソッド普及委員会は探究し続けています。令和5年度の活動としては、



①教育コミュニケーションフォーラム

2023開催 (主催)

「VUCAの時代を見据えて、教育のデフォルトを書き換える」をテーマに、基調講演、ワークショップ、トークショー、分科会、ワークショップを実施。参加者の満足度は98%に達しました。

②教育コミュニケーション講座 (後援)

教育の成果を最大限に高めるコミュニケーションを習得する講座。基礎課程からエグゼクティブ認定講座まで7段階の講座を開催しています。

③アクティブラーニング実践講座

「主体的・対話的で深い学び」型の授業・研修を行うマインドとスキルを学んでいます。スキルだけでなく、自身の教育観や働き方・生き方にまで変容があったという喜びの声がありました。

④みらいの先生応援プロジェクト (後援)

学校教員・教育産業を目指す学生を支援する「みらいの先生オンライン講座」には多くの学生が参加。この講座はオンラインコミュニ

先生・子どもたち・保護者、そして社会の未来を切り拓く「主体的・対話的で深い学び」を探究・実践・普及しています。



ティの参加費で支えられています。



JEMRO Webサイト
https://jemro.jp

令和6年度 活動計画

教育コーチング事業

- ・教育コーチ養成講座Ect p・検定・認定
- ・教育コーチング実践校認定・支援講座
- ・『親力』向上セミナー
- ・『ババママ・コーチ・ニュースレター』発行
- ・教育コーチング体験ゼミ
- ・その他講演・セミナー



令和6年度 活動計画

- ・教育コミュニケーションフォーラム
- ・教育メソッドおよびアクティブラーニングの実践・普及事業



06

スポーツ 委員会

ビブス・タープの提供
リーグ協賛を通して
子どもたちの可能性を
応援しています

REPORT 06

スポーツを通じて実現する子どもたちの健康的な成長・人間力の育成を支援しています。



ビブス・タープの無料提供

フリービブスプロジェクトは、「スポーツする子どもを応援する」というテーマのもと、全国のジュニアスポーツチームを中心に、『子



どもたちに無料でビブス・タープをプレゼントする」プロジェクトとして2008年から活動しています。

企業名(ロゴマーク)をプリントすることで、協賛企業のCSR活動として地域貢献の一つとしてご利用いただいています。

2023年リーグ協賛実績

協賛企業	リーグ	種類	主要活動地域	協賛金額
株式会社サクシード	オーシャンズリーグ	サッカー	神奈川県横浜市	30万円
株式会社やる気スイッチグループ	クレセール育成リーグ	サッカー	千葉県千葉市	30万円

▶協賛企業募集中！

ビブス・タープ・リーグ協賛にご協力いただける、協賛企業を随時募集しております！
詳細についてはフリービブスプロジェクトのホームページをご参照ください。



07

会員拡大・広報 委員会

皆様と一緒に
委員会活動を通して
学び育む

REPORT 07

日本青少年育成協会では、各委員会が様々な活動を行っています。活動を知っていただき、活動にご参加いただき、一緒にこれからを切り拓いて行きましょう。



日本青少年育成協会の活動にご共感いただいた17の法人にご入会をいただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。日々の生活の中で、大人も子どもも「生きる力」が重要になってきていると感じます。活動を通じて「大人の居場所」ができて、仲間たちと様々なことを共有しながら学びあうことができる日青協。中国語検定HSK、指導者育成教育コ

ーチング、国際交流、スポーツ、キャリア教育、アクティブラーニング、異業種交流、チャリティ、教育環境向上、コンプライアンス…各委員会の活動を多くの皆様に知っていただきご参加いただけるよう会員拡大・広報委員会の活動を拡げてまいりたいと思います。今年度も引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新会員のご紹介

MLC語学教室	業種：英会話（外国語）スクール	株式会社NEEDS	業種：英会話（外国語）スクール
華文書院	業種：英会話（外国語）スクール	スポーツコミュニティ株式会社	業種：スポーツ・健康機関
株式会社英検塾	業種：国際交流・留学／塾・予備校	株式会社早文舎	業種：英会話（外国語）スクール
合同会社朝日塾	業種：塾・予備校	株式会社Integra Academy	業種：塾・予備校
株式会社DEOW	業種：国際交流・留学	信雅株式会社	業種：英会話（外国語）スクール
株式会社DeltaX	業種：IT関連・ホームページ製作	株式会社studio上海	業種：英会話（外国語）スクール
株式会社Forvitas	業種：塾・予備校	非営利活動法人同源中国語学校	業種：英会話（外国語）スクール
中天株式会社	業種：英会話（外国語）スクール	株式会社和陽日本語学院	業種：塾・予備校

令和6年度 活動計画

- ・ビブス・タープ提供プロジェクト
- ・スポーツリーグ支援プロジェクト



令和6年度 活動計画

- ・会報誌『かけはし』作成/ホームページ閲覧
- ・イベントの広報活動（HSK中国留学転職フェア HSKキャンブ コーチング事業等各事業部の広報）
- ・SNSによる情報発信と会員フォロー
- ・『塾と教育』本誌、メルマガ、WEBサイト等の媒体での広報活動



チャリティ企画委員会

皆さまからの
温かいご支援に
心より厚く
御礼申し上げます

REPORT 08

チャリティ企画委員会は、令和5年度もチャリティゴルフイベントを主として活動して参りました。数年来のコロナ禍も幾分落ち着き、理事会、総会に合わせたコンペを例年より一回少なくなりましたが4月神戸、12月神戸、1月今治でそれぞれ盛況のうちに無事開催することが出来ました。そして今年度はそれに加え新たに小

チャリティ企画委員会は皆さまからの温かいお気持ちをカタチに変え、それを必要とする青少年や人々に繋ぐ架け橋として尽力して参ります。

規模開催も9月五島、10月福島、で行うことが出来ました。ご参加頂き、そして積極的にチャリティして頂きました皆さまに心より御礼申し上げます。チャリティ委員会と致しましては、皆さまから寄与されたそのチャリティを皆さまにより分かりやすいカタチにしていきたいと考えております。具体的にはラオスの小学校建設



やジャブジャブ池の設置、また昨年度スポーツ委員会と事務局の連携により始まったオーシャンズリーグへの参画といったものです。是非皆さまからも日青協らしい素晴らしい企画やご助言を頂戴しながら、会長はじめ皆さまと話し合いながら皆さまのチャリティの種を蒔き育て、カタチにして参りたいと存じます。引き続き日本や世界の子どもの笑顔に繋がるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和5年度参加者（延べ）あいうえお順

今井 博幸、小木曾 正浩、川名 一弘、梶浦 真平
木村 吉宏、小池 泰司、佐々木 裕子、佐々木 喜一
尚 捷、高木 毅、田中 弘樹、壇 明秀、長嶋 顕信
豊川 忠紀、服部 悠太、本田 恵三、望月 将史、山中 孝光

チャリティ金額					
日付	5月28日	9月13日	10月23日	11月20日	1月28日
場所	神戸ハイムウッズ	五島カントリークラブ	ボナリ高原ゴルフクラブ	島原カントリークラブ	今治カントリークラブ
チャリティ金額	¥163,000	¥58,000	¥58,000	¥58,000	¥173,000
令和5年度 チャリティ金額合計				¥510,000	

令和6年度
活動計画

- ・チャリティイベント（年4回＋小規模開催）
- ・HSK奨学金短期留学



教育環境向上委員会

子どもたちの
未来のための
「教育環境」向上を
支援します。

REPORT 09

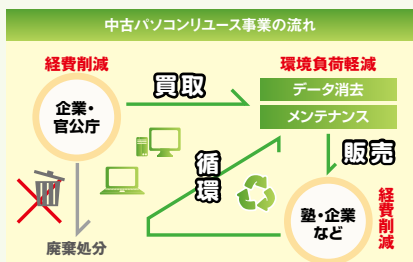
未曾有の時代の今、将来の日本を背負う子供たちの教育環境は目まぐるしく変化し、所得格差の広がりとともに教育格差は更に広がっています。教育環境向上委員会では2010年以降リユースPCを通して教育環境の向上に努めており、2021年度から「かけはし未来基

リユースPC及び、コスト適正化事業での売上の一部を「かけはし未来基金」へプールし、外郭団体への協賛も行います。

金事業」を展開しております。当事業は、リユースPC・タブレットの普及に加えて、塾や企業の間接コストの適正化（電力、複合機、賃料など）によって生まれる収益の一部を基金とし、教育環境向上に繋がる活動・団体へ協賛しております。2023年度までに合計で約500万円を基金に充当することができており、今年度は会員企業様の枠を超えて、会員



外の企業様へもこの活動を普及させていきたいと考えております。

令和6年度
活動計画

- ・中古PC・タブレット販売
- ・コスト適正化サービス



会員異業種交流委員会

志をともにする
同志と未来を
語り合う

REPORT 10

第1回理事会

令和5年4月29日（土）15:00～17:00

さくら国際高等学校東京校及びオンライン理事／監事 総数28名 出席者21名（オンライン参加含）

◇1号議案（審議事項） 令和4年度各委員会活動報告の件◇2号議案（審議事項） 令和4年度決算報告の件◇3号議案（審議事項） 役員選任指名名簿の件◇4号議案（報告事項） 退職金の件◇5号議案（報告事項） 総会の件

第2回理事会

令和5年5月27日（土）

13:00～13:30、15:15～15:30

スペースアルファ三宮会議室及びオンライン理事／監事 総数28名 出席者 26名（オンライン参加含）

◇1号議案【報告事項】 総会の件◇2号議案【審議事項】 令和5・6年度役員互選の件◇3号議案【審議事項】 退職金の件

令和5年度定時総会

令和5年5月27日（土）13:40～14:40

スペースアルファ三宮会議室及びオンライン会員総数数167名 出席者 110名（オンライン参加含）

コンプライアンス委員会

コンプライアンス
遵守への啓蒙

REPORT 11

「リアルとオンラインの二刀流」を駆使して、これからも会員同士の交流の機会を皆さまに提供してまいります。

◇1号議案（審議事項） 令和4年度各委員会活動報告の件◇2号議案（審議事項） 令和4年度決算報告の件◇3号議案（審議事項） 令和5・6年度役員改選の件◇4号議案（報告事項） 令和5年度年間スケジュールの件◇5号議案（審議事項） 定款の件

第3回理事会

令和6年1月27日（土）

今治里山スタジアム内2階会議室及びオンライン理事／監事 総数28名 出席25名（オンライン参加含）

◇1号議案（審議事項） 令和6年度活動方針の件◇2号議案（審議事項） 令和6年度委員会活動計画の件◇3号議案（審議事項） 令和6年度予算の件◇4号議案（審議事項） 令和6年度総会・理事会等年間スケジュールの件

令和5年異業種交流委員会

令和6年1月26日（金）

FC今治高等学校校内と今治里山スタジアム見学 出席者数：17名
元サッカー日本代表監督である岡田武史氏が学園長を務め、2024年4月の開校を目指すFC今治高等学校を訪校。「サッカー人材の育成ではなく、これからの世界の歴史を動かす「ヒストリック・キャプテンシップ」を持ったリーダー育成を目指す同校の教育について、岡田武史氏にご説明いただきました。

令和5年度理事意見交換会

令和5年12月16日（土）16:00～17:30

神戸ハーバーランドセンタービル8階会議室

理事／監事 総数28名 出席20名

①イベント報告・教育コミュニケーションフォーラム2023 ・HSK留学就職フェア

- ・STANDPROJECT in 奈留島
- ②委員会からのお知らせ・スポーツ委員会
- ・日本版DBS制度の件
- ③今後のスケジュール



令和5年度総会講演会

2023年5月27日（土）15:30～17:00

オンライン開催

■テーマ「自走する個と組織の作り方」

■講師 中竹 竜二 氏

株式会社チームボックス 代表取締役（一社）

日本ウィルチャアラグビー連盟 副理事長（一社）

スポーツコーチングJapan 代表理事

令和6年度
活動計画

- ・総会・理事会の企画補助
- ・総会の会員以外からの動員
- ・異業種交流会の実施
- ・日青協イベント支援(留学フェア・コーチング・HSK) (ラオスフェスティバル支援)



社員の安全・安心な環境構築、有給休暇の取得など
労働者の権利の遵守、教育の質を高める目標に向けた
ガバナンスの強化とコンプライアンスの遵守を
目指してまいります。

令和6年度
活動計画

- ・コンプライアンス遵守への啓蒙
- ・就業規則や運用方法など各団体の知見の集約と共有
- ・労働紛争など突発的なトラブル時の相談窓口（弁護士等）の準備と共有



理 事			
※2024年4月理事会にて承認済。2024年5月総会にて審議・承認後の役員はホームページにて公開。			
役 職	役員氏名	所属団体	役 職
会 長	増 澤 空	株式会社ティエラコム	代表取締役社長
副 会 長	荒 井 裕 司	学校法人上田煌桜学園	理事長
副 会 長	木 村 吉 宏	株式会社ヒューマレッジ	相談役
専務理事	本 田 恵 三	一般社団法人日本青少年育成協会	事務局長
常任理事	小 木 曾 正 浩	株式会社クロノクリエイト	代表取締役
常任理事	加 藤 麻由美	株式会社塾と教育社	代表取締役社長
常任理事	高 木 毅	株式会社サクシード	代表取締役社長
常任理事	徳 岡 臣 紀	株式会社モノカイ	代表取締役社長
常任理事	林 隆 樹	一般社団法人海外留学協議会	評議員
常任理事	堀 川 直 人	株式会社 SRJ	代表取締役
理 事	池 上 喜 重 子	学校法人池上学園	顧問
理 事	太 田 明 弘	株式会社成学社	代表取締役会長
理 事	小 椋 義 則	株式会社ケーイーシー	代表取締役
理 事	梶 浦 真 平	中央教育研究所株式会社	代表取締役
理 事	木 村 剛	ケイ.イー.シー.株式会社	代表取締役社長
理 事	小 山 英 樹	株式会社対話教育研究所	代表取締役
理 事	佐 々 木 裕 子	株式会社成基	取締役
理 事	新 谷 学	株式会社アクトプロ	代表取締役
理 事	高 橋 直 司	株式会社やる気スイッチグループ	代表取締役社長
理 事	田 中 弘 樹	株式会社ビーシー・インクス	顧問
理 事	豊 川 忠 紀	株式会社創英コーポレーション	代表取締役
理 事	庭 前 はる な	株式会社心水出版	代表取締役
理 事	平 石 明	株式会社スプリックス	取締役
理 事	山 岡 啓 一 朗	Gogaku 株式会社	代表取締役
理 事	山 中 孝 光	株式会社なるほどゼミナール	代表取締役

監 事			
日青協役職	代表者氏名	法人名・団体名	所属団体肩書
監 事	川 名 一 弘	株式会社イーブレイン	代表取締役
監 事	中 野 勘 也		
監 事	中 野 伸 也	中野会計事務所	所長

相 談 役			
日青協役職	代表者氏名	法人名・団体名	所属団体肩書
相 談 役	川 野 辺 敏	民間教育研究所連盟	役員

顧 問			
日青協役職	代表者氏名	法人名・団体名	所属団体肩書
特別顧問	佐 々 木 喜 一	成基コミュニティグループ	会長
最高顧問	永 瀬 昭 幸	株式会社ナガセ	代表取締役
顧 問	大 島 九州男		参議院議員
顧 問	下 村 博 文		衆議院議員

日青協の詳しい内容はWebサイトから

<https://www.jyda.jp/>

日青協のWebサイトには、当会の日々の活動から、加盟団体、定款、事業内容など、全てが詰まっています。Webサイトのメニューから各ページをご参照ください。



当会・各委員会の活動内容はトピックスで配信中



各事業Webサイト



SNS・メルマガ

